

mints提出パッケージ機能

詳細説明書 — 2026年5月 民事裁判電子提出義務化対応

2026年5月21日の改正民事訴訟法全面施行により、弁護士による裁判書類の電子提出が義務化されます。AILEXは、裁判所の電子提出システム「mints」への提出準備を包括的に支援するmints提出パッケージ機能を搭載しています。6つのAI強化機能とPDF出力エンジンにより、証拠説明書の自動生成からフォーム入力テキストの事前作成、提出前チェック、期限管理まで、電子提出に必要な作業をワンストップで支援します。

65.5%

弁護士のmints未使用率（弁護士ドットコム
2024年調査）

0社

mints対応の訴訟支援 AIツール競合企業数

6機能

AILEXが搭載する mints AI強化機能数

1. 背景 — 民事裁判IT化と電子提出義務化

改正民事訴訟法第132条の11により、2026年5月21日から弁護士等の訴訟代理人による裁判書類の電子提出が義務化されます。裁判所のシステム障害等の例外を除き、紙での提出は認められなくなります。

mintsは最高裁判所が開発・運営する民事裁判書類電子提出システムです。2022年4月の運用開始以降、段階的に拡大され、2025年7月には全国の簡易裁判所にまで展開。2025年10月のアップデートで新規申立て機能・電子送達機能・電子納付機能が追加されました。

mintsの主な提出要件

要件項目	詳細
ファイル形式	PDF形式のみ（A4またはA3）
証拠番号	各書証PDFの右上に証拠番号を表記
申立ての趣旨	mintsフォームに400字以内で入力
請求の原因	mintsフォームに10,000字以内で入力
当事者10名超	CSVファイルでの提出が必要
ファイル名	50文字以内、パスワード付きPDF不可
アップロード上限	1回50MB

2. 競合不在の市場

AILEXが実施した市場調査の結果、2026年2月時点でmints対応の訴訟支援AIツールは市場に存在しません。主要リーガルテック各社（弁護士ドットコム / LegalOn Technologies / LAWGUE / GVA TECH / MNTSQ等）はいずれも企業法務・契約管理に注力しており、案件管理ツール（LEALA / Firmee / Trustice等）もmints連携は実現していません。

mintsの外部APIは非公開であるため、外部システムとのプログラミ的な連携は不可能です。AILEXはAPI連携を待つのではなく、ワークフローレベルでの最適化というアプローチを採用しました。mints対応PDFの出力、証拠番号の自動付与、フォーム入力テキストの事前作成——これらすべてをAIで強化する独自のポジションを確立しています。

3. mints AI強化 — 6つの機能

#	機能名	解決する課題
1	AI証拠説明書自動生成	号証ごとの標目・作成者・作成日・立証趣旨の手作業記載
2	mintsフォーム入力テキストAI生成	申立ての趣旨(400字)・請求の原因(10,000字)の要約作成
3	AI提出前チェック(8項目)	PDF形式・サイズ・証拠番号・整合性等の手動確認作業
4	AI証拠並び順提案	証拠の時系列・論理的順序の最適化
5	提出履歴+差分パッケージ	追加証拠提出時の差分管理
6	提出期限リマインダー連携	送達 of 1週間ルール等の期限見落とし防止

機能1: AI証拠説明書自動生成

証拠説明書の作成は訴訟実務で最も時間を要する作業の一つです。AILEXでは、事件に登録された各証拠文書のOCRテキストをAIが分析し、証拠説明書の全フィールド(標目・原本/写し・作成者・作成日・立証趣旨)を自動補完します。

弁護士が手動で入力済みの項目は尊重され、空欄のフィールドのみが自動補完されます。生成された証拠説明書はmints要件に準拠したPDF形式で出力され、テーブルヘッダーのページ跨ぎリピートにも対応しています。PIIマスキングが適用されるため、外部APIに個人情報が送信されることはありません。

機能2: mintsフォーム入力テキストAI生成

mintsの新規申立てフォームでは「申立ての趣旨」(400字以内)と「請求の原因」(10,000字以内)の入力が求められます。特に「申立ての趣旨」の400字制限は、不動産関連訴訟など複雑な事案では大きな制約となります。

AILEXは事件の訴状・準備書面テキストから、文字数制限に最適化されたテキストを自動生成します。法的正確性を維持しながら要約し、文字数超過時は警告を表示。生成テキストはAILEX上でプレビュー・編集後、コピー&ペーストでmintsフォームに入力できます。

機能3: AI提出前チェック (8項目)

チェック種別	チェック項目	検出内容
静的チェック	号証連番チェック	甲第1〜N号証の欠番を検出
静的チェック	立証趣旨記載チェック	証拠説明書の空欄フィールドを検出
静的チェック	ファイル数整合チェック	主張書面・書証の件数一致を確認
AIチェック	訴状→証拠の引用整合	訴状中の「甲第N号証」と実際の証拠を照合
AIチェック	当事者表記の統一性	原告・被告の氏名表記ゆれを検出
適合性	ファイル名50文字制限	mints命名規則への適合を確認

チェック種別	チェック項目	検出内容
適合性	パスワードPDF検出	アップロード不可のPDFを事前検出
適合性	ファイルサイズ・形式	PDF形式・サイズ上限の適合を確認

機能4: AI証拠並び順提案

証拠の提出順序は訴訟戦略に影響します。AIが全証拠の内容を分析し、時系列順・論理的関連性に基づく最適な並び順を提案します。弁護士は提案を参考に、ドラッグ&ドロップで並び替えを確定できます。

機能5: 提出履歴＋差分パッケージ生成

過去の提出パッケージを履歴として管理し、追加証拠の提出時には前回との差分のみを含むパッケージを自動生成します。号証番号の継続管理により、重複や欠番を防止します。

機能6: 提出期限リマインダー連携

電子送達の「1週間ルール」(通知から1週間経過で送達成立)を自動計算し、AILEXのスケジュール管理・Googleカレンダー連携と統合。応答期限のアラートを自動設定し、弁護過誤につながる期限見落としを防止します。

4. PDF出力エンジン

AILEXは独自のPDF出力エンジンを搭載し、mintsの技術要件に完全準拠したPDFを生成します。外部ライブラリに依存しない純PHP実装により、XServer等の共有ホスティング環境でも安定動作します。

コンポーネント	機能	技術詳細
MintsPdfExporter	テキスト/DOCX→PDF変換	Noto Sans CJKフォント対応、A4/A3出力
MintsEvidenceStamper	証拠番号スタンプ	甲/乙号証番号の表紙PDFを自動付加
画像→PDF変換	JPEG/PNG→A4 PDF	証拠画像をmints準拠PDFに自動変換
メディア対応	MP4/MP3→表紙PDF	動画・音声ファイルの表紙PDF+メディア添付
PdfWriter	純PHP PDF生成	外部ライブラリ不要、CID/CMap対応
OCRエンジン	スキャンPDFテキスト抽出	縦書き・段組み・和暦・証拠番号対応
バリデーション	mints適合性チェック	サイズ/形式/ファイル名/パスワード検出
分割処理	50MB超の自動分割	mintsアップロード上限対応

5. 生成パッケージの構造

ワンクリックで生成されるZIPパッケージは、以下の構造でmintsの提出要件に完全準拠したファイル群を含みます。

ファイル / フォルダ	内容	生成方法
00_mintsフォーム入力テキスト.txt	申立ての趣旨・請求の原因等	AI自動生成(機能2)
01_主張書面/	訴状・答弁書・準備書面PDF	事件登録文書から自動収集
02_書証_甲号証/	甲第1～N号証PDF(番号スタンプ済み)	証拠番号自動付与
03_書証_乙号証/	乙第1～N号証PDF(番号スタンプ済み)	証拠番号自動付与
04_証拠説明書.pdf	号証・標目・立証趣旨等のテーブルPDF	AI自動生成(機能1)
05_当事者等目録.csv	当事者情報CSV(10名超対応)	事件データから自動生成
06_AI提出前チェック結果.txt	8項目の適合チェック結果	AI自動検証(機能3)

ファイル / フォルダ	内容	生成方法
README_提出手順.txt	mints操作手順ガイド	定型テンプレート

6. 利用フロー

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4
事件詳細ページで 「パッケージ生成」 ボタンをクリック	原告/被告を選択 申立ての趣旨・ 請求の原因を入力(任意)	AIが自動で 証拠説明書生成 +提出前チェック実行	ZIPダウンロード →mintsに アップロード

AIエージェント(右下の常駐ボタン)からも自然言語で生成可能です。例:「田中事件のmints提出パッケージを原告側で作って」と指示するだけで、パッケージ生成からダウンロードリンクの提示まで自動実行されます。

7. セキュリティとコンプライアンス

対策項目	実装内容
PII自動マスキング	外部API送信前に当事者名・住所・電話番号等を自動置換。依頼者への同意説明が不要
AI学習利用なし	入力データはAIモデルの学習に一切使用されない旨を明示(フッター・トップページに表示)
データアクセス分離	全データにuser_idフィルタリングを適用。他ユーザーの事件データへのアクセスを防止
通信暗号化	HTTPS/TLS暗号化。外部API通信もすべてTLS経由
監査ログ	全操作の監査ログを記録。誰が何を生成・ダウンロードしたかを追跡可能
一時ファイル管理	ZIPパッケージは一時保存後、自動削除(保持期間の管理)

8. 法令遵守

法令・規程	対応内容
弁護士法第23条(守秘義務)	PII自動マスキングにより外部APIへの個人情報送信を防止
弁護士法第72条(非弁行為)	AI出力は「下書き」「参考資料」として位置づけ。最終判断は弁護士が行う旨を明示
弁護士情報セキュリティ規程	データの作成・取得・保管・利用・提供・送信・廃棄の全段階でセキュリティを確保
改正民事訴訟法第132条の11	mints提出要件(PDF形式・証拠番号・文字数制限等)に完全準拠したパッケージを生成

9. AILEXについて

AILEX(エーアイレックス)は、小～中規模の法律事務所(弁護士1～5名規模)向けのAI法務支援クラウドSaaSです。mints提出パッケージ機能は、AILEXが提供する統合プラットフォームの一部として、以下の機能群と連携して動作します。

カテゴリ	主な機能
AI文書生成	58テンプレート(民事訴訟・家事事件・刑事事件・債務整理・労働・不動産・契約書・事務所運営)
AI分析	AI法律相談チャット / ファクトチェック / AI事件分析 / 相手方書面AI分析 / 陳述書ドラフトAI生成
文書管理	全文テキスト検索 / セマンティックサーチ / ワンクリックAI分析 / クロス分析 / OCR
案件管理	事件管理 / タスク管理(AI優先度キュー) / スケジュール / コンフリクトチェック
経理・顧客	請求書管理(PDF/メール送信) / 依頼者ポータル / 相談管理
AIエージェント	20ツールによるデータ横断検索 — 自然言語で操作可能な常駐アシスタント

運営	AILEX合同会社
住所	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-8 渋谷道玄坂東急ビル
メール	info@ailex.co.jp
公式サイト	https://ailex.co.jp
SaaS	https://users.ailex.co.jp
公式LINE	https://lin.ee/P9JAWZp

免責事項

mints提出パッケージは弁護士の提出準備を支援するツールです。実際のmints提出はmints上で弁護士ご自身が行ってください。AI生成物は参考情報であり、最終判断は弁護士が行うものとします。チェック結果は参考情報であり、mints側の受理要件は変更される場合があります。提出前にmintsの最新要件をご確認ください。証拠説明書の「立証趣旨」は弁護士による確認・補記が必要です。